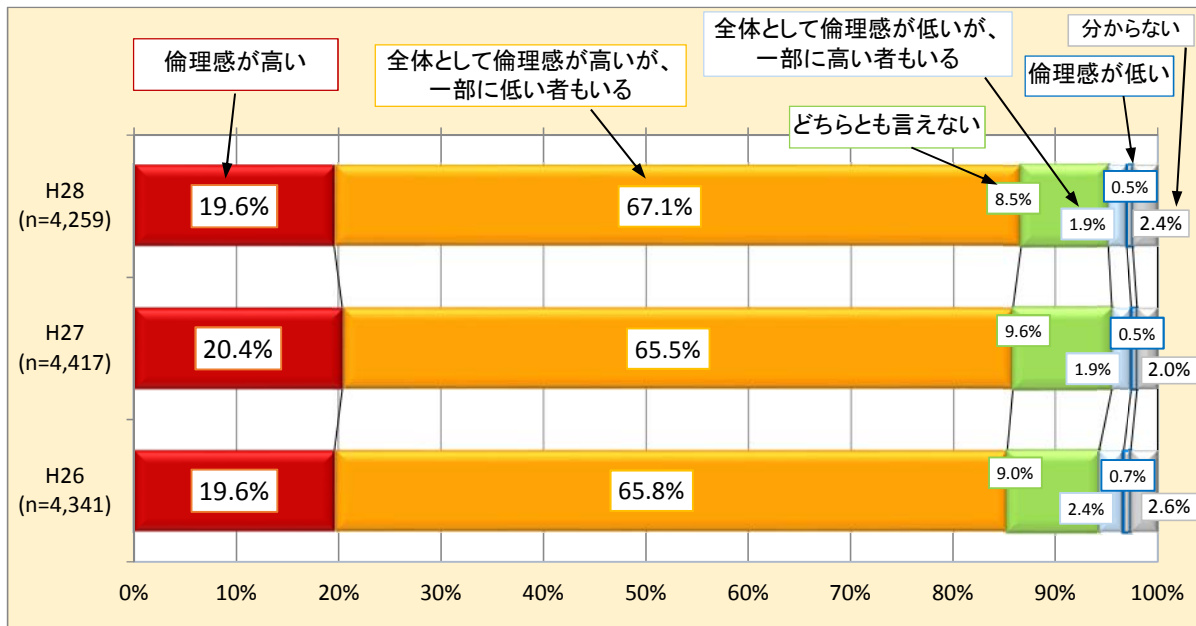


## 職員アンケートの結果

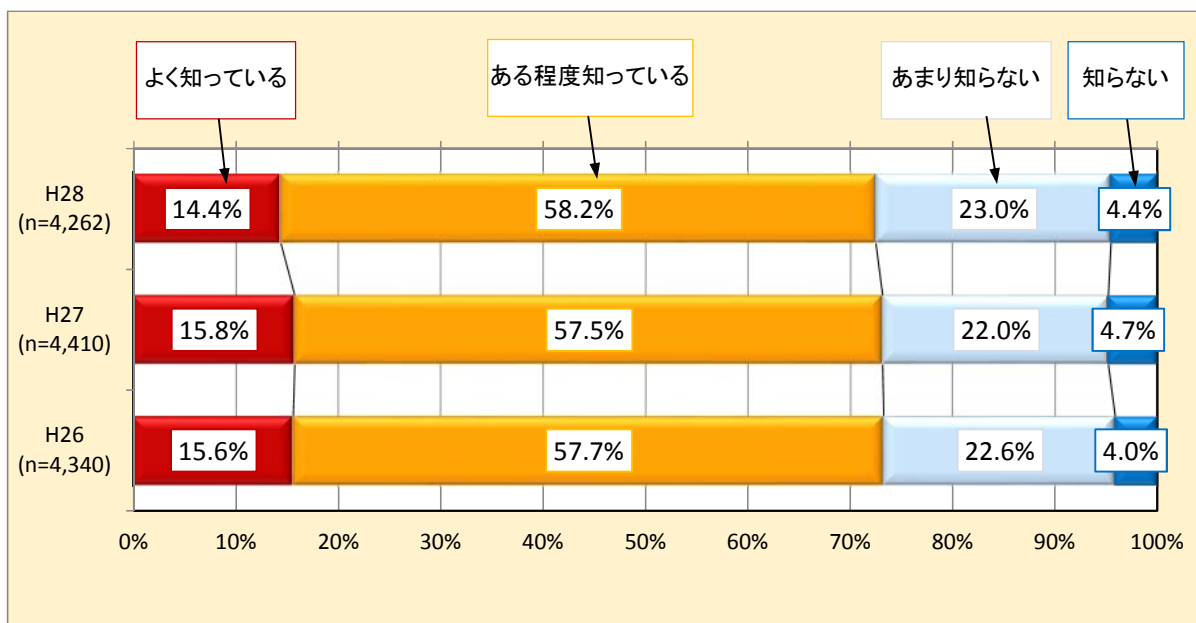
調査対象: 一般職の国家公務員 5,000人  
 調査時期: 平成28年6月～7月  
 回答状況: 回答者数 4,267人(平成27年度 4,424人)  
 回答率 85.3%(同 88.5%)  
 調査手法: 郵送調査

### 問1 一般職の国家公務員の倫理感について、現在、どのような印象をお持ちですか。

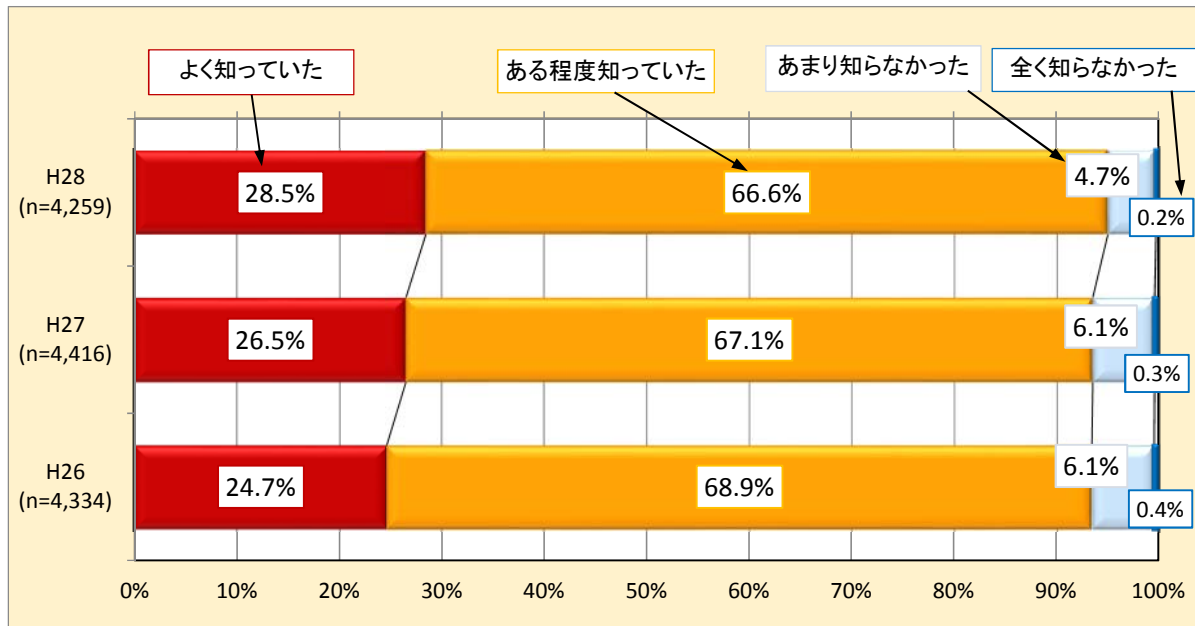


n: 有効回答者数(以下同じ)

### 問2 倫理法制定の契機となった平成7年から平成10年頃の過剰接待等に関わる深刻な公務員不祥事についてどの程度御存知ですか。

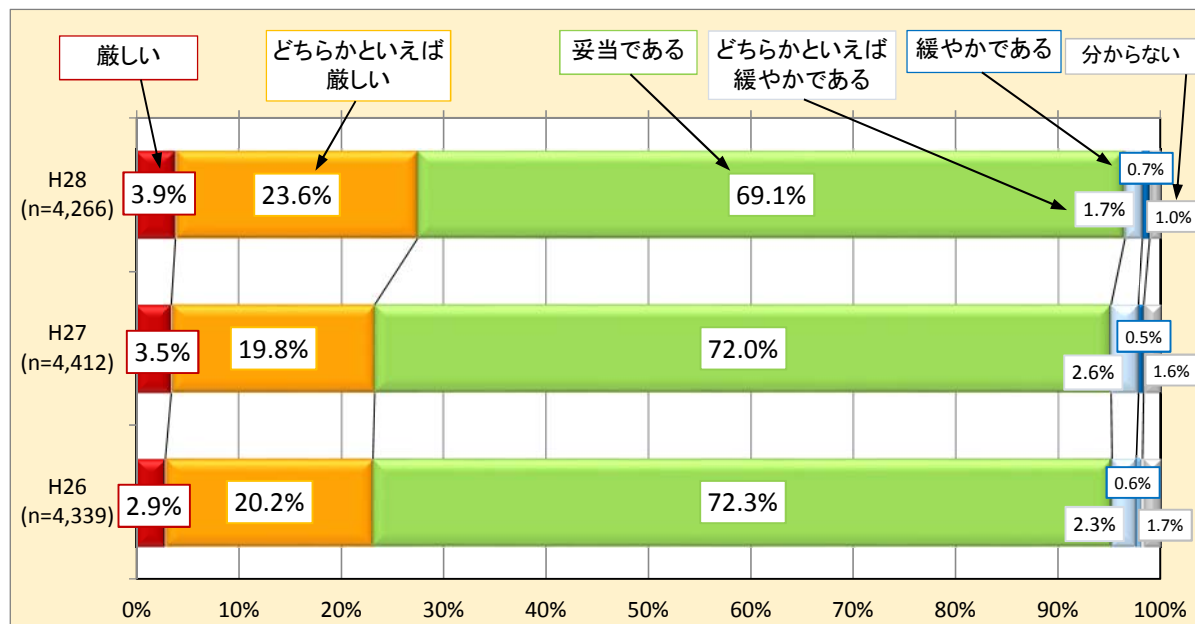


問3 このアンケートが届く前に、倫理法・倫理規程についてどの程度御存知でしたか。

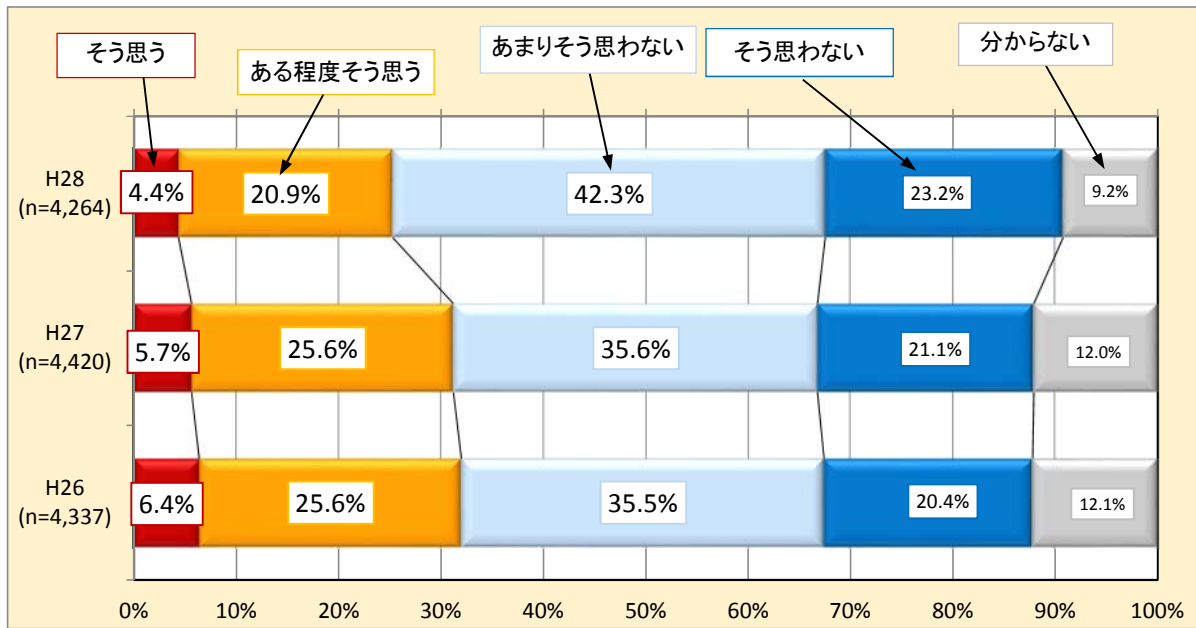


問4 倫理規程で定められている行為規制の内容全般についてお伺いします。

(1) 行為規制内容全般についてどのように思いますか。

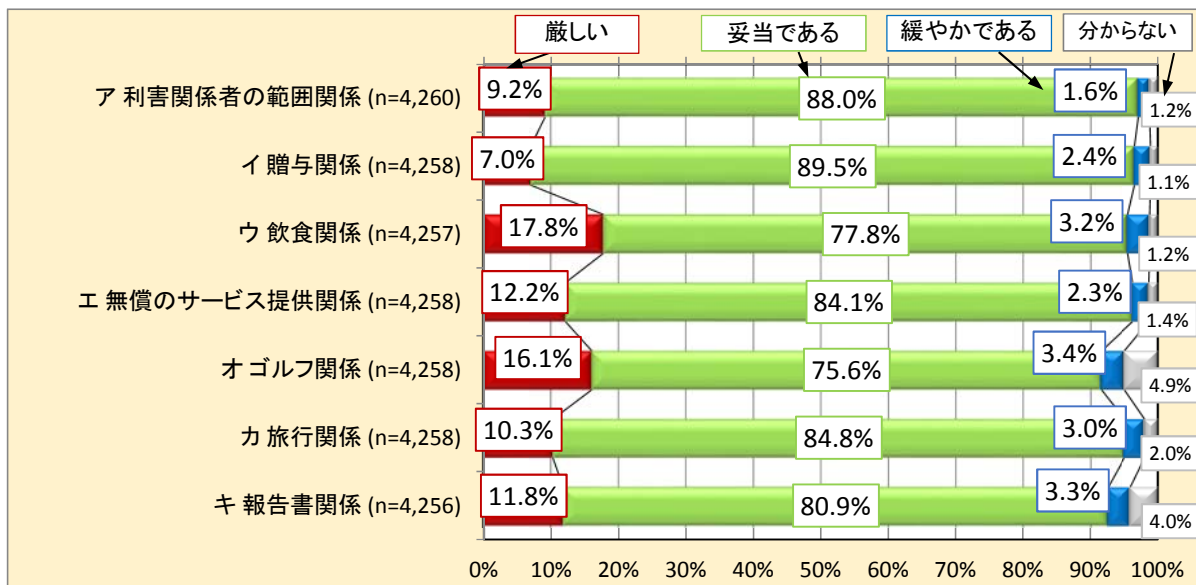


(2) 現在、倫理法・倫理規程があるため、職務に必要な行政と民間企業等との間の情報収集、意見交換等に支障が生じていると思いますか。

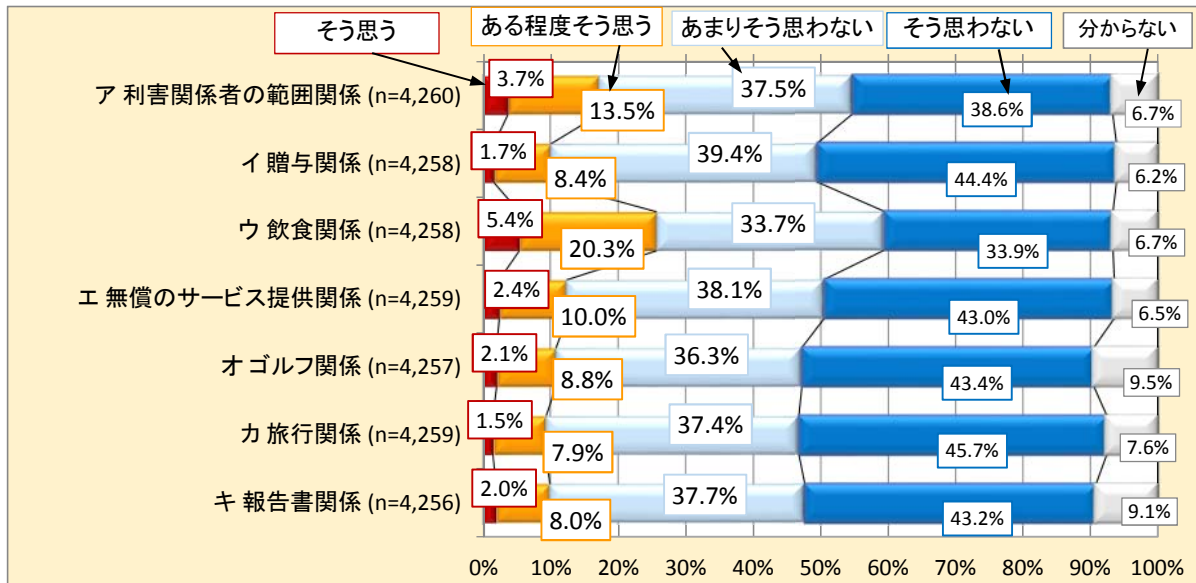


問5 倫理規程で定められている行為規制の各論についてお聞きします。

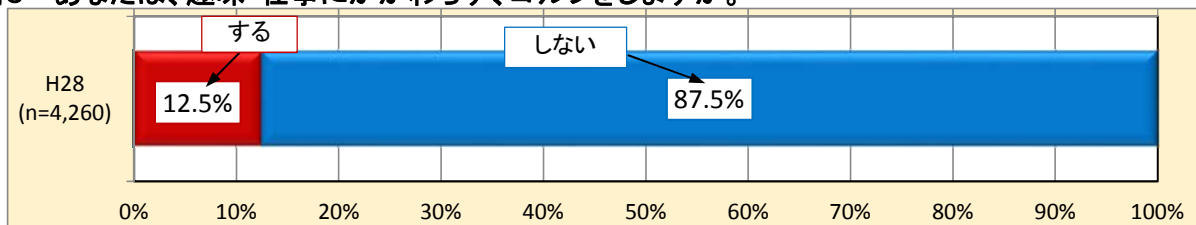
(1) ア～キの行為規制について、どのように思いますか。



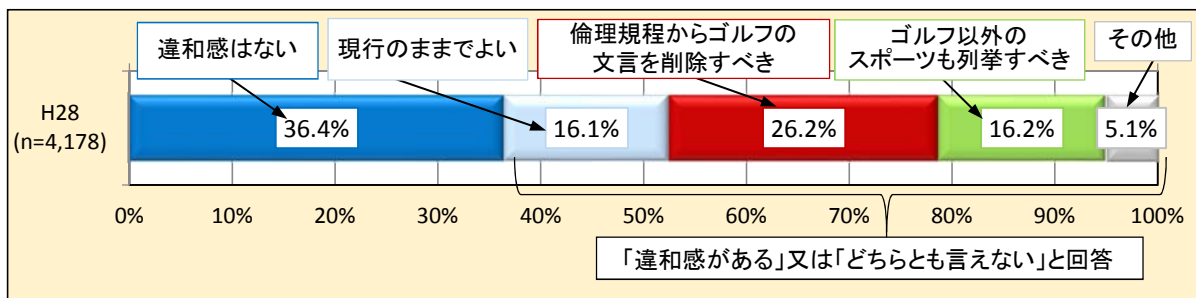
(2)ア～キの行為規制があるため、職務に必要な行政と民間企業等との間の情報収集、意見交換等に支障が生じていると思いますか。



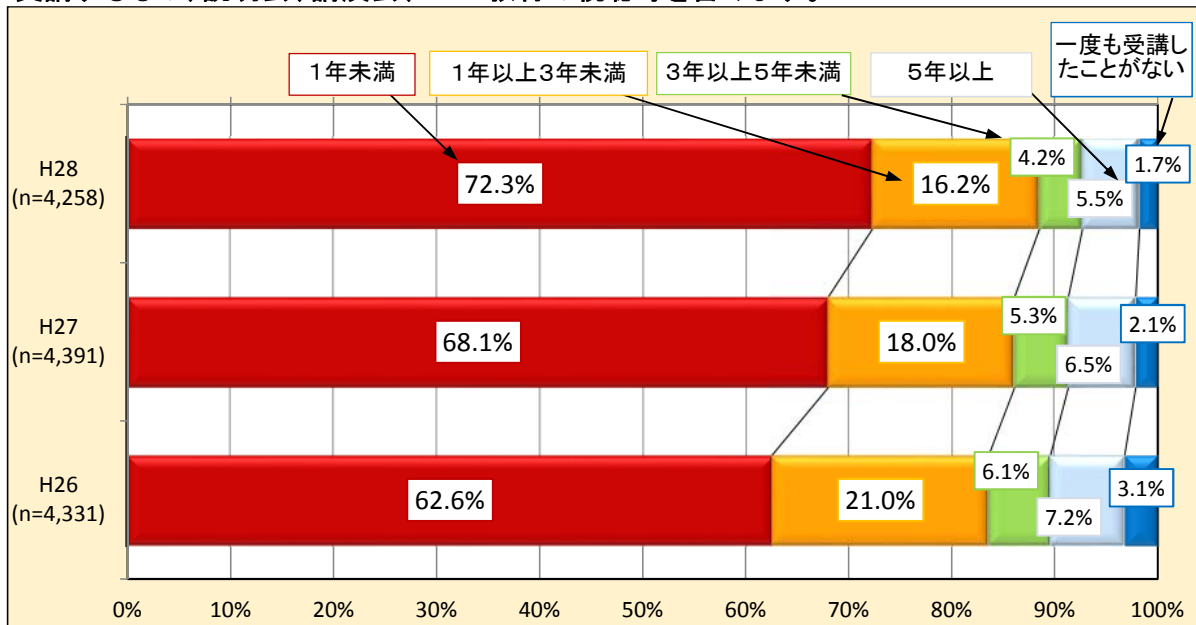
問6 あなたは、趣味・仕事にかかわらず、ゴルフをしますか。



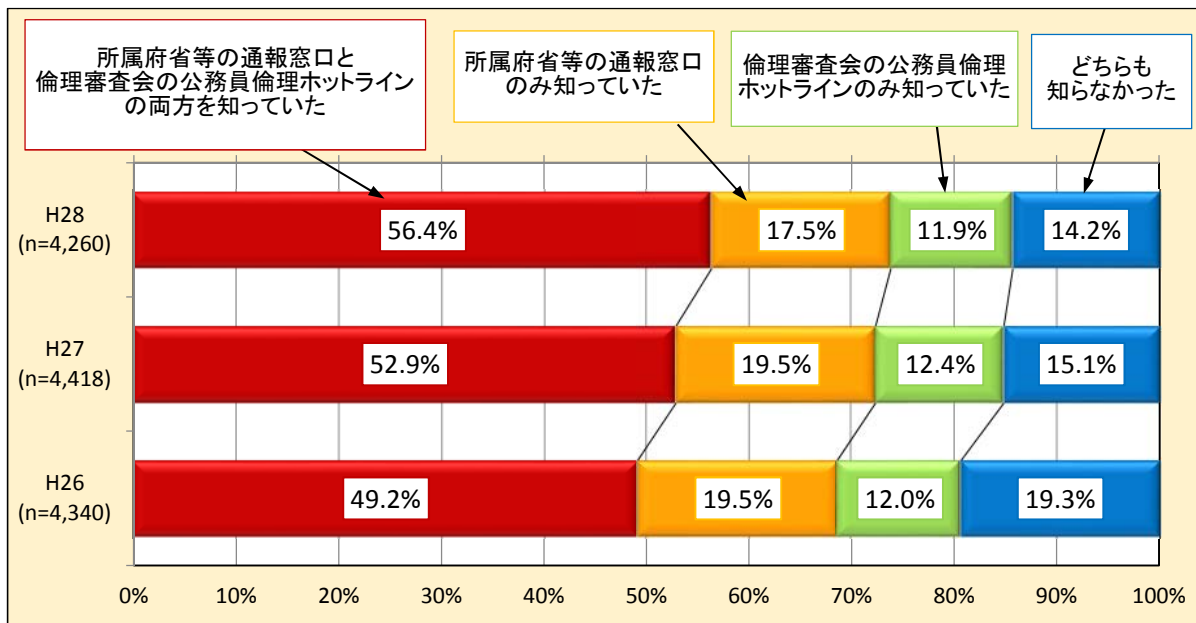
問7 スポーツの中でゴルフのみが倫理規程の禁止行為として列挙されていることについて、どのように感じですか。



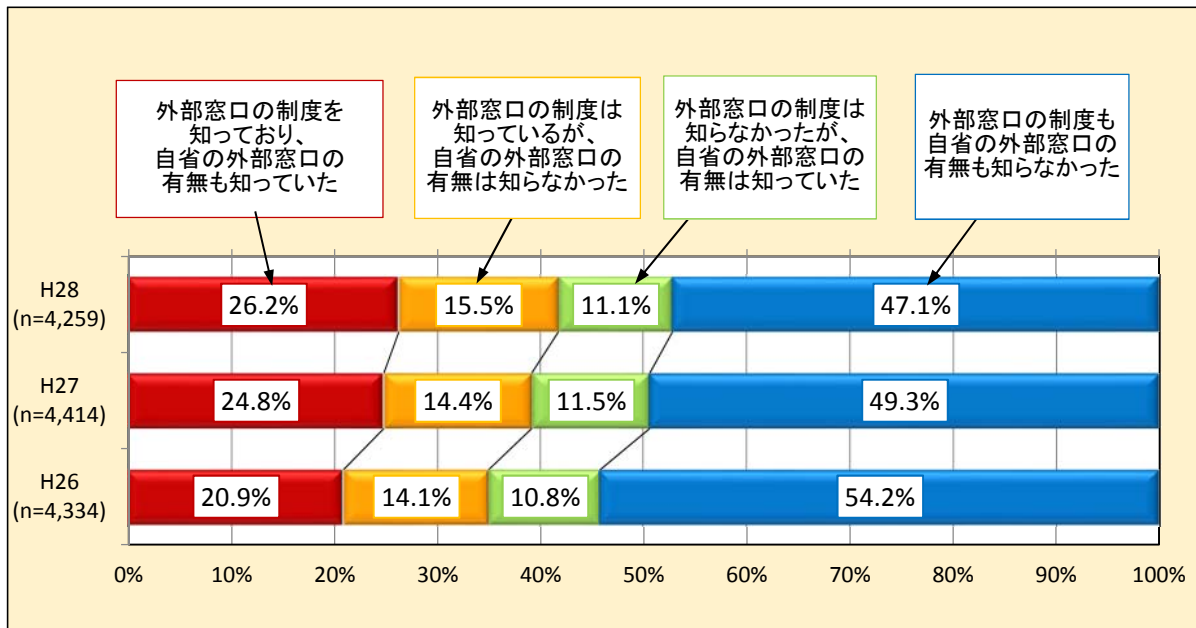
問8 あなたが公務員倫理に関する研修等に最後に参加してからどのくらいの期間が経過していますか。なお、ここでいう「研修等」には、公務員倫理に関する内容がカリキュラムの一部に組み込まれているもの、自習研修教材やセルフチェックシート等を使用してeラーニング等により職員が個別に受講するもの、説明会、講演会、DVD教材の視聴等を含みます。



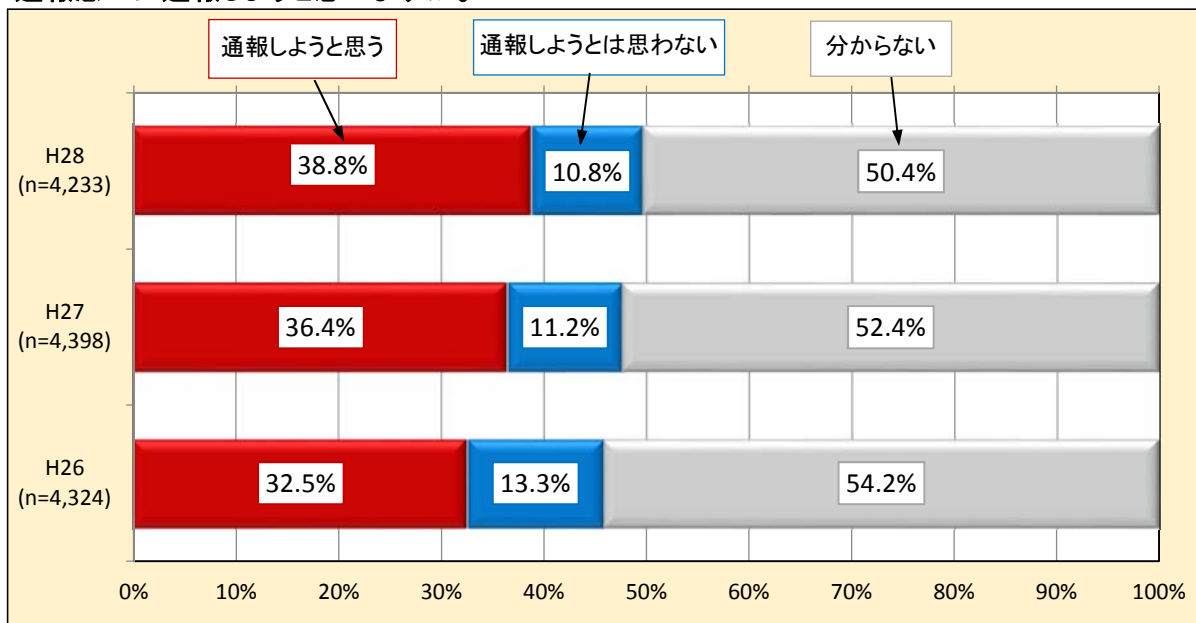
問9 倫理法・倫理規程に関する通報窓口には、各府省等のもの(他の通報制度と一体となっているものを含みます。)と倫理審査会のもの(公務員倫理ホットライン)とがありますが、このアンケートが届く前にこれらが設けられていることを御存知でしたか。(電話番号まで知らなくとも、通報窓口が設けられていることだけでも知っていれば「知っていた」ものとしてお答えください。)



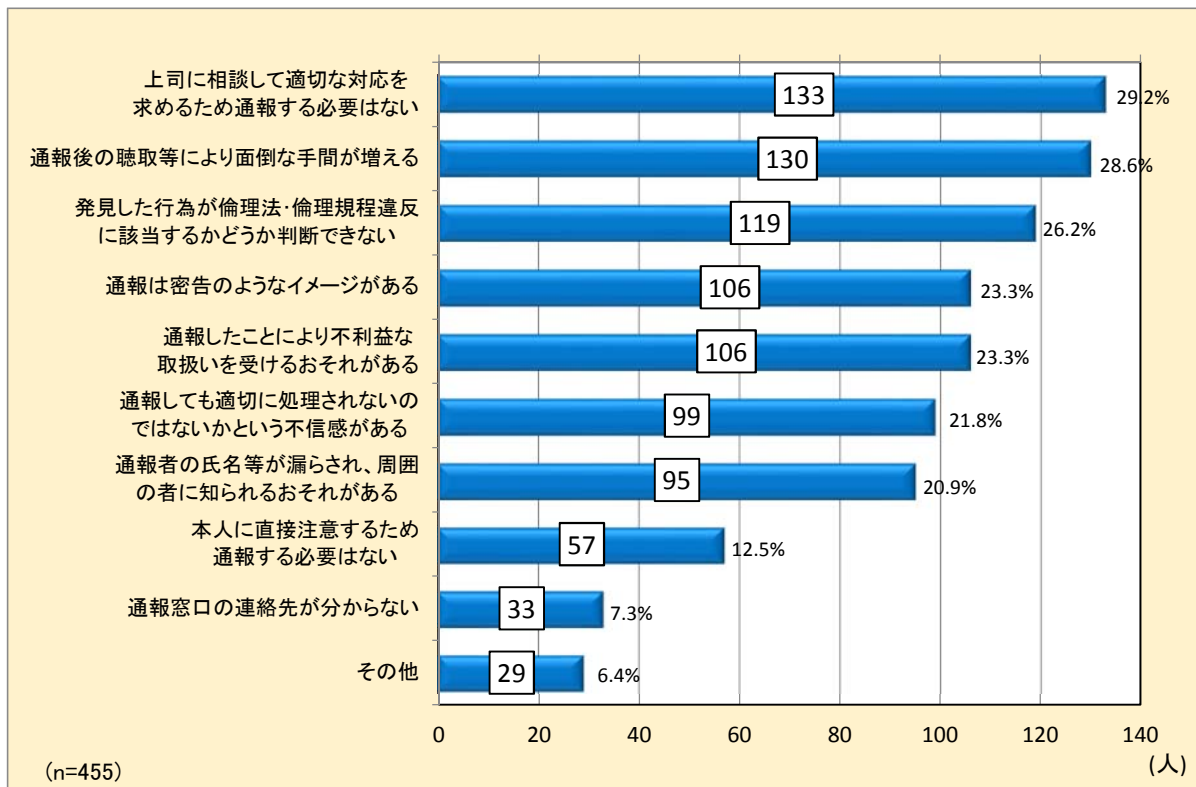
問10 各府省等には、組織内に設けられた通報窓口のほか、弁護士事務所等を活用した外部窓口も設けることとされ、実際に多くの府省等で設けられています。このアンケートが届く前に外部窓口の制度や自省の外部窓口の有無を御存知でしたか。



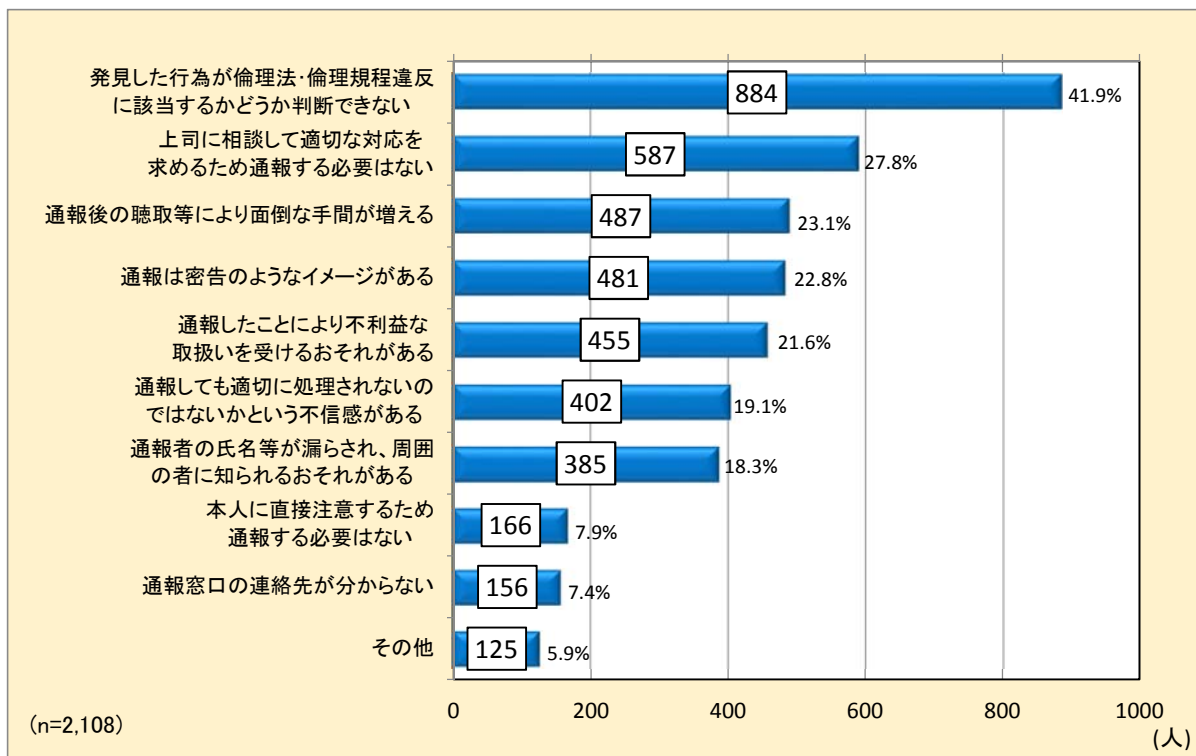
問11 倫理法・倫理規程に違反すると疑われる行為を発見した場合に、所属府省等や倫理審査会の通報窓口へ通報しようと思いませんか。



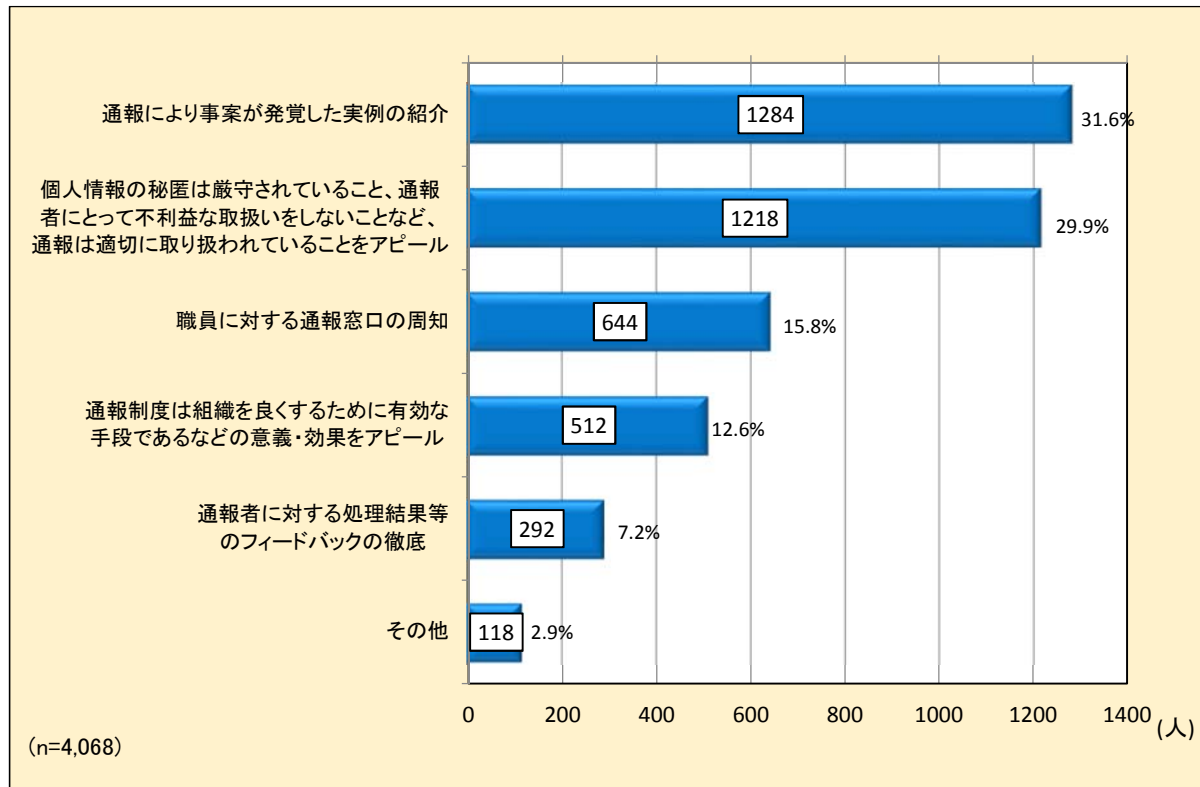
問11-2【問11で「通報しようとは思わない」と回答した者について】  
 通報しようとは思わない理由として以下のことが該当しますか。該当するものを全てお選びください。



問11-2【問11で「分からない」と回答した者について】  
 分からない理由として以下のことが該当しますか。該当するものを全てお選びください。



問12 通報制度がより一層活用されるために最も効果があると思う取組を1つお選びください。



問13 通報制度の効果についてどのように考えますか。3つ以内でお選びください。

